

## ◆ 国際経営論演習 ◆



サムエル・ギルダート  
(Samuel G. Gildart)

本演習では、国際経営と国際経済の最先端の領域で活躍するための知識を修得することを目指す。そして、国際経営分野において国内外で評価の高い書籍、先行研究論文、新聞記事などを参照しながら問題意識を醸成する。それに基づいて現実の社会にも対応した研究領域を模索し、研究報告とディスカッションを中心に進める予定である。英語で書かれた書籍や論文、記事を読解する必要があるため、高度な語学の素養が必要である。関連する授業である国際経営論研究では、企業事例またはケーススタディを基にしたテキストを使用し、その戦略や理論的枠組みを体系的に学習する。各自の研究テーマを絞り込み、研究手法についても検討していく。

受講者については、国際経営分野に関連するものであれば、研究テーマについては広く受け入れる。受講者には、関心分野を狭く限定せずに、幅広い問題意識を持ってほしい。研究には、好奇心が重要なため、文献や資料に丁寧にあたり問題を明確にしておくことが必要である。研究結果・成果よりもプロセスを重視し、積極的に研究に取り組んでいく姿勢を求める。座学ばかりでなく現実の状況・様子を知ることにも必要なため、フィールドワークを実施することもある。

私自身は異文化経営論や自由貿易協定を中心に研究している。BOP市場への関心やCSR意識の高まりとともに、多国籍企業の戦略的行動が国際社会にどのような影響を与えるのかについて興味を有している。